

12

原子力施設の運転状況

12-03

試験研究用原子炉と研究開発段階の原子炉

12-03-03

試験研究用原子炉の従事者被ばく状況

12-03-03-12

平成2年度試験研究用原子炉における従事者被ばく状況

<概要>

試験研究用原子炉施設等における平成2年度の放射線業務従事者の線量当量は、いずれの原子炉施設においても線量当量限度（50mSv/年）を下まわっている。

<更新年月>

1998年05月（本データは原則として更新対象外とします。）

<本文>

原子炉設置者は、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」（以下、「原子炉等規制法」という。）に基づき、その原子炉に関する作業に従事する者の線量当量が、同法に基づく告示に定める線量当量限度（50mSv/年）を超えないように管理することが義務づけられている。

原子炉等規制法に基づいて、試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある原子炉施設（以下、「試験研究用原子炉施設等」という。）の設置者から提出された「放射線管理等報告書」及び行政上の通達に基づく「放射線業務従事者線量当量管理報告書」によると、試験研究用原子炉施設等における平成2年度の放射線業務従事者の線量当量は、表1に示すとうりであり、いずれの原子炉施設においても線量当量限度（50mSv/年）を下まわっている。

<関連タイトル>

日本の試験研究炉等における放射線業務従事者被ばく管理状況の推移（2005年度まで）(03-04-07-01)

平成2年度試験研究用原子炉における事故・故障 (12-03-01-11)

放射線影響協会・放射線従事者中央登録センター (13-02-01-26)

<参考文献>

(1) 原子力安全委員会（編）：平成3年版 原子力安全白書

表1 試験研究用原子炉施設等における放射線業務従事者の線量当量

(平成2年度)

区 分 事 業 所 名		放射線業務従事者の線量当量分布(人)							放射線業務従事者数計(人)	総線量当量(人・mSv)	平均線量当量(mSv)
		5mSv以下	5mSvを超え15mSv以下	15mSvを超え25mSv以下			25mSvを超え50mSv以下	50mSvを超えるもの			
				15mSvを超え20mSv以下	20mSvを超え25mSv以下	小 計					
日本原子力研究所 東海研究所	所員	423							423	26	0.1
	所員外	1,391	0						1,391	248	0.1
	計	1,814	0						1,814	274	0.1
日本原子力研究所 大洗研究所	所員	129							129	1	0.0
	所員外	513							513	17	0.0
	計	642							642	18	0.0
日本原子力研究所 原子力船第一船	所員	112							112	2	0.0
	所員外	177							177	3	0.0
	計	289							289	5	0.0
動力炉・核燃料開発事業団 大洗工学センター	所員	187							187	33	0.2
	所員外	388	24						412	374	0.9
	計	575	24						599	407	0.7
動力炉・核燃料開発事業団 新型転換炉ふげん発電所	所員	183	17	0	0	0	0		200	334	1.7
	所員外	1,540	437	93	0	93	0		2,070	7,016	3.4
	計	1,723	454	93	0	93	0		2,270	7,350	3.2
東京大学工学部附属原子力研究施設		54							54	2	0.0
武蔵工業大学原子力研究所		44							44	1	0.0
立教大学原子力研究所		13							13	2	0.2
京都大学原子力実験所		167							167	15	0.1
近畿大学原子力研究所		46							46	0	0.0
(株)東芝総合研究所原子力技術研究所		27							27	0	0.0
(株)東芝総合研究所エネルギー機器研究所		45							45	0	0.0
日立製作所エネルギー研究所王禅寺分室		3							3	0	0.0
日立ニュークリアエンジニアリング (株)王禅寺事業所		2							2	0	0.0

注) 表中の「0」、「0.0」の違いは、
 総線量当量欄 「0」：0又は0.5未満を示す。
 平均線量当量欄「0.0」：0.05未満を示す。

〔出典〕 原子力安全委員会(編)：平成3年版 原子力安全白書